



あしたからできる!

内部進学のための 効果的な英語勉強法

成績アップ

テスト対策



東京個別指導学院
関西個別指導学院

はじめに

この度は、東京個別・関西個別へお問い合わせいただき、ありがとうございます！

内部進学を目指している方にとって、英語の成績向上は大きな課題かもしれません。しかし、英語は単なる「暗記」や「繰り返し」の勉強ではなく、効率的に学ぶ方法を知ることによって、確実に力をつけることができます。

本電子ブックでは、**効果的に英語力を伸ばすための勉強法**を紹介します。英語が苦手だと感じている人でも、勉強法を見直すことで成績をアップさせることは十分に可能です。

学習のポイントを押さえて、英語力に必要な土台を固めていけば、無駄なく効率的に成績を向上させることができます。英語力を高めるためには、**リーディング、リスニング、ライティング、そしてスピーキングの4技能をバランスよく鍛えることが大切です。**

まずは長文を読みこなせるよう、リーディング力の鍛え方をご紹介します。

本電子ブックの後半では、リーディング以外のそれぞれの技能に特化した勉強法もご紹介します。最終的には総合的な英語力を高めることを目標にして、勉強に取り組んでいただけたら幸いです。

今すぐ実践できる具体的な方法をお伝えしていますので、日々の学習にぜひお役立てください。



もくじ

● Chapter 1 英語力の基礎・土台を作る

英語のリーディング力を鍛えるには	04
知らない言語の文を和訳するのに必要なのは？	05

● Chapter 2 記憶に残る、単語の勉強法

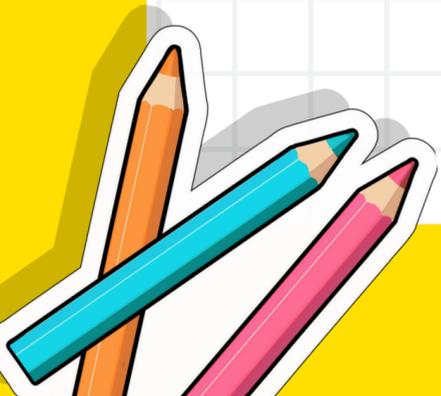
単語力をつけるには？	09
長文を使った単語の勉強法	13
番外編「語源で覚える」	17
単語勉強法まとめ	21

● Chapter 3 構文力を高める

構文は、なぜ重要なのか	22
構文の取り方	26
構文を取る手順	34

● Chapter 4 定期テスト対策のための文法力

定期テストでは「文法」の理解が重要	35
文法・語法・勉強法のポイントまとめ	41



もくじ

● Chapter 5 技能別の学習法

リスニング	42
ライティング	45
スピーキング	48



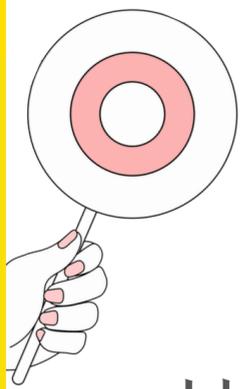
英語力の基礎・土台を作る

英語のリーディング力を鍛えるには

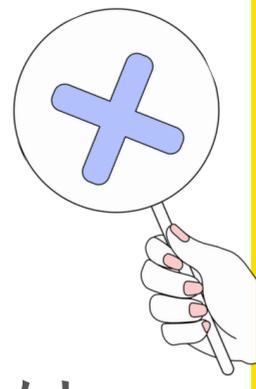
英語のリーディング力を鍛えるには、
何が必要だと思いますか？

リーディングで問われる力は、
単語、構文、文法・語法、長文読解と
さまざまにあります。

リーディングというからには、
一番重要なのは「長文読解」では？
と思われるかもしれませんが。



それはある意味、正解で
ある意味では不正解です。



リーディング力がある状態というのは
長文を読める状態になっていること。
では、その長文を読めるようになるには、
まずどの力を鍛えることが
大切なのでしょうか？

知らない言語の文を和訳するのに
必要なのは？

ここで一つ、質問です。
次の文章を読むのに必要なのは、
「**単語の知識**」と「**文法の知識**」と
どちらでしょうか？

Se fossi un uccello,
potrei volare da te.

文法が分かってても、
単語の意味がわからないと
読めないですよね。



では単語の意味が分かっていたら
どうでしょう。

もし～なら

私が～である

一羽の鳥

Se fossi un uccello,
potrei volare da te.

私は～できる

飛ぶ

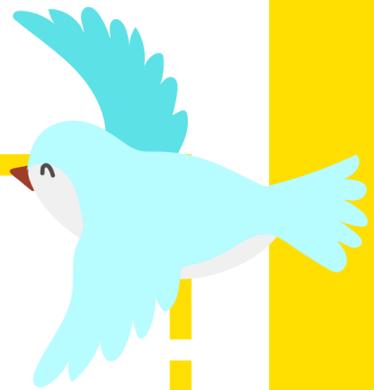
あなたへ

もし私が一羽の鳥なら、
あなたのところへ飛んでいけるのに

単語の意味がわかっているならば、
おおよそその文意がわかる
のではないのでしょうか。

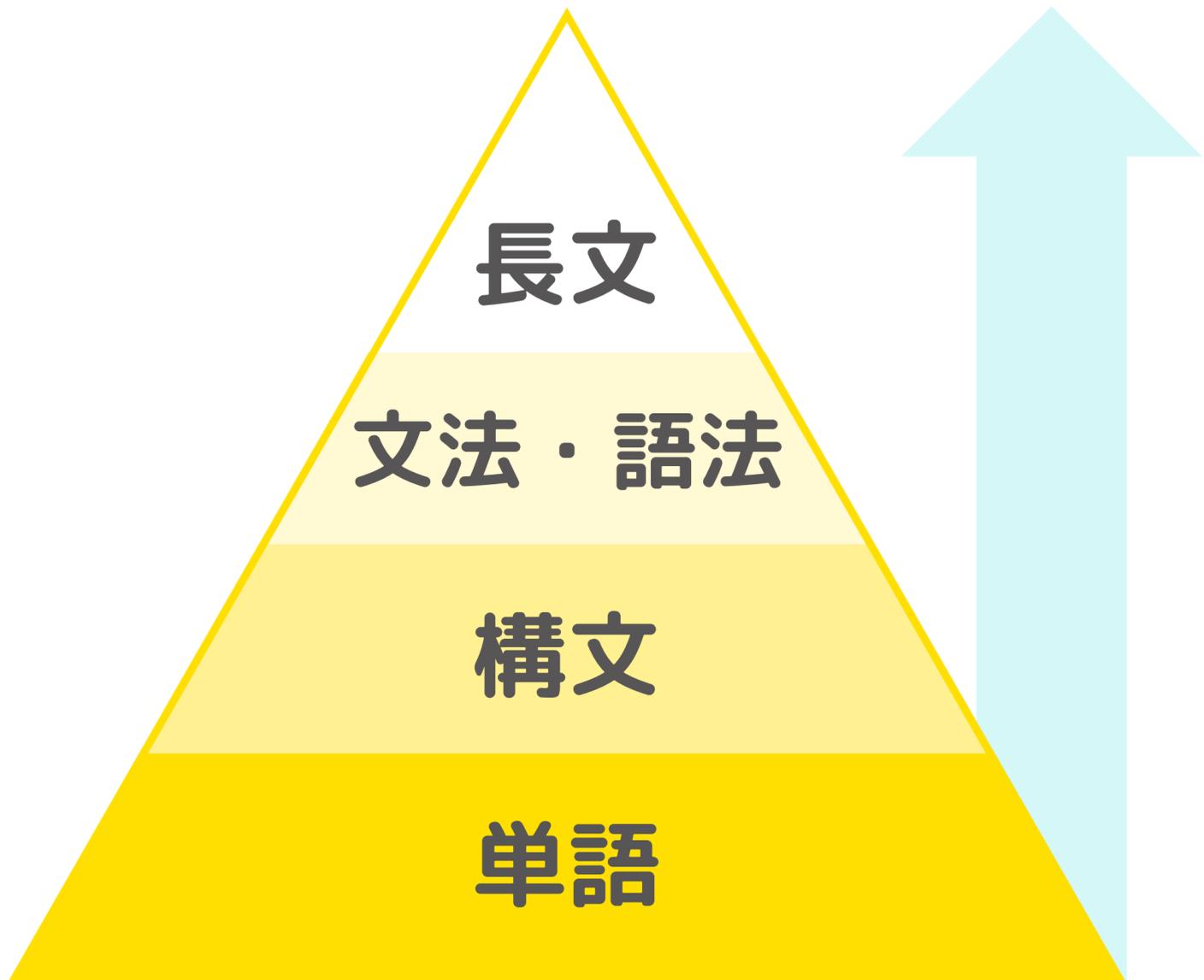
上の文はイタリア語なのですが、
仮にイタリア語の文法（ここで使われている
接続法半過去や条件法現在など）の
知識があっても、
文の意味は分からないでしょう。

単語を知らなければ、
文法を知っていたとしても
文を訳すのは難しいと言えます。



知らない、慣れない言語を
読むために必要な力は
「単語」 > 「文法」なのです。

リーディング力を鍛えるには、
ピラミッドの下から鍛えることが
必要になります。

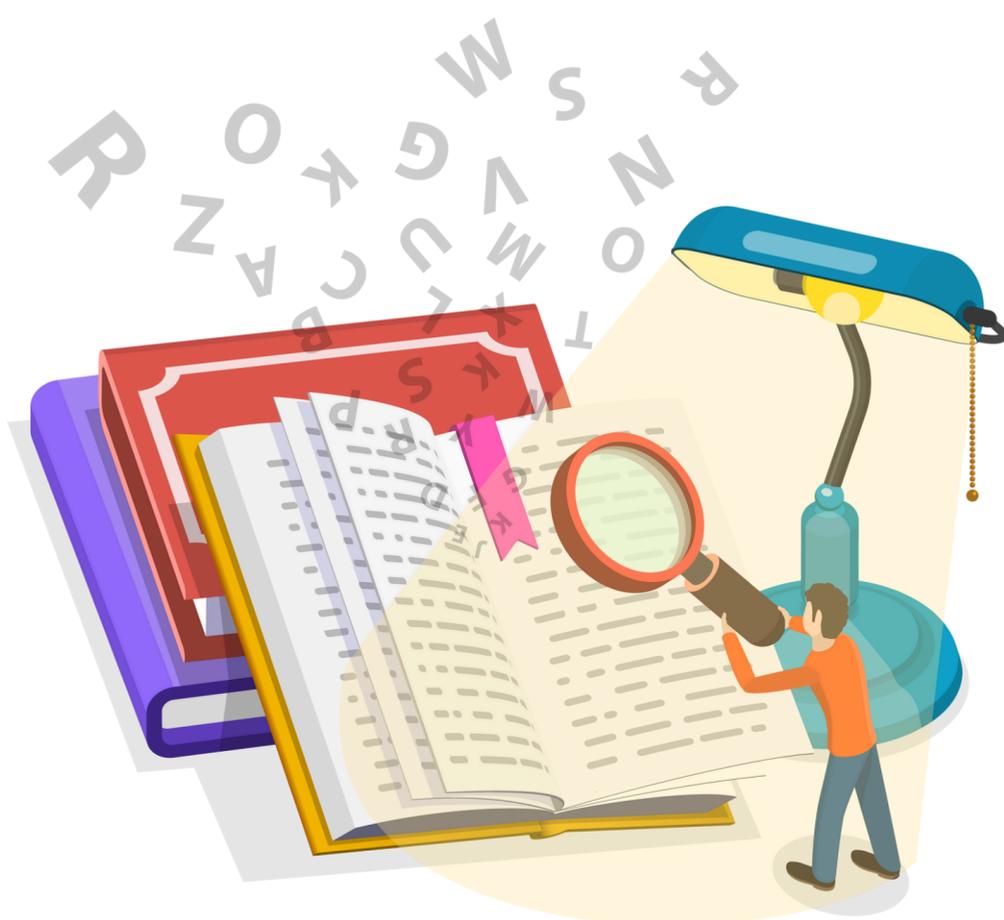


単語力は、リーディング力で最も土台となる要素です。

単語の意味さえわかれば、例に挙げたイタリア語の文章でも文意を理解できます。

単語力は、英語力の土台。

単語を強化するだけでも英語の成績は結構あがるので、まずは単語の強化から勉強を始めていきましょう。



記憶に残る、単語の勉強法

単語力をつけるには？

単語の勉強法とって、
まず思い浮かぶのはなんでしょう？

単語帳が真っ先に思い浮かぶ方も
多いかもしれません。

確かに、単語帳を使った学習は、
「単語」を覚える**短期対策**としては**有効**です。

でも、単語の意味を記憶に残し、
単語力をしっかり定着させるには、
単語帳の勉強では
少し不十分だったりします。



ここで質問です。
どちらの覚え方の方が、
単語力が定着しやすいでしょうか？

A

単語帳を用いて
冒頭から1語ずつ
意味を確認して
覚える

pedestrian
=歩行者

B

長文で
意味が分からなかった
単語について
辞書や単語帳で調べて
記録しておく

That day,
he took a seat on
the terrace of the cafe,
watching the pedestrians
passing by and
indulging in his own
imagined stories
about their lives.



A

単語帳を用いて
冒頭から1語ずつ
意味を確認して
覚える

pedestrian
=歩行者



B

長文で
意味が分からなかった
単語について
辞書や単語帳で調べて
記録しておく

That day,
he took a seat on the terrace
of the cafe, watching the pedestrians
passing by and indulging
in his own imagined stories
about their lives.

答えは **B** です。

Aのように「歩行者」を
一語一義の単語帳でひたすら覚えるだけ。

一方、Bは文脈（ストーリー）の中で
単語の意味を覚えるので、
結果的に記憶に残りやすくなります。

単語は、
長文から学ぶ習慣をつけることが、
最も効率のいい・定着がしやすい
勉強法です。

かといって、単語帳を使った学習が
意味のないことかといえは、
そうではありません。

長文での学習と、
単語帳を使った学習を
上手に組み合わせていきましょう。

では次から、
具体的な単語の勉強法をご紹介します。



記憶に残る！

長文を使った単語の勉強法

単語は長文を使って覚えるのが、
最も有効な勉強法です。



単語を覚えるための長文は

学校の教科書

学校の問題集

に

出てきた長文を活用

1

教科書や問題集で扱った長文の中で
わからなかった単語にマークをつける

2

ノートに記録する



3

単語帳に書き込んでおく



記憶に残る！

長文を使った単語の勉強法

2

ノートに記録する

自分専用の「単語ノート」を作成しましょう。

わからなかった新出単語を演習ごとに記録しておきます。

調べた単語はノートにまとめておきましょう。

402 (p100)	7 (p10)	involve	動(他)	～関係する ～参加する ↳ be involved in ~ 参加する / 関係する
B02 (p220)		embrace	動(他)	～受け入れる
150 (p390)		swell	動(自)	膨張する、膨らむ
45 (p26)		benefit	名	利益
613 (p172)		practical	形	実用的な
B25 (p234)		yield	動(他)	～を収穫する
		improve	動(他)	～を改善する



123 (p20)		concentration		
		be used to -ing		
		used to -		
132 (p362)		content		
		against		
		take A for granted		
624 (p276)		deal		
		independently		
		↑ independent		
		depend (on)		

402 (p100)	7 (p10)	involve	動(他)	～関係する ～参加する ↳ be involved in ~ 参加する / 関係する
B02 (p220)		embrace	動(他)	～受け入れる
150 (p390)		swell	動(自)	膨張する、膨らむ
45 (p26)		benefit	名	利益
613 (p172)		practical	形	実用的な
B25 (p234)		yield	動(他)	～を収穫する
		improve	動(他)	～を改善する

記憶に残る！

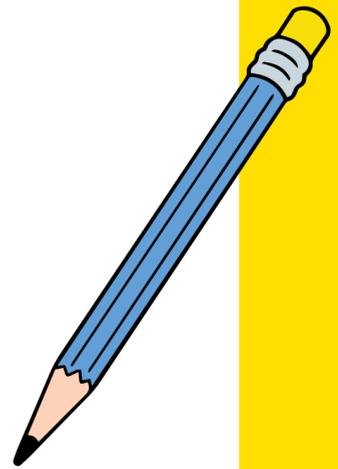
長文を使った単語の勉強法

3

単語帳に書き込んでおく

演習中に出てきた単語が
単語帳に掲載されているかを確認します。

掲載されていれば、単語帳に
演習中に出てきたテキスト名やページ数を
追記しておき、
次回の学習につなげられる工夫を
しておきましょう。

Part 2
Section 9

動詞編

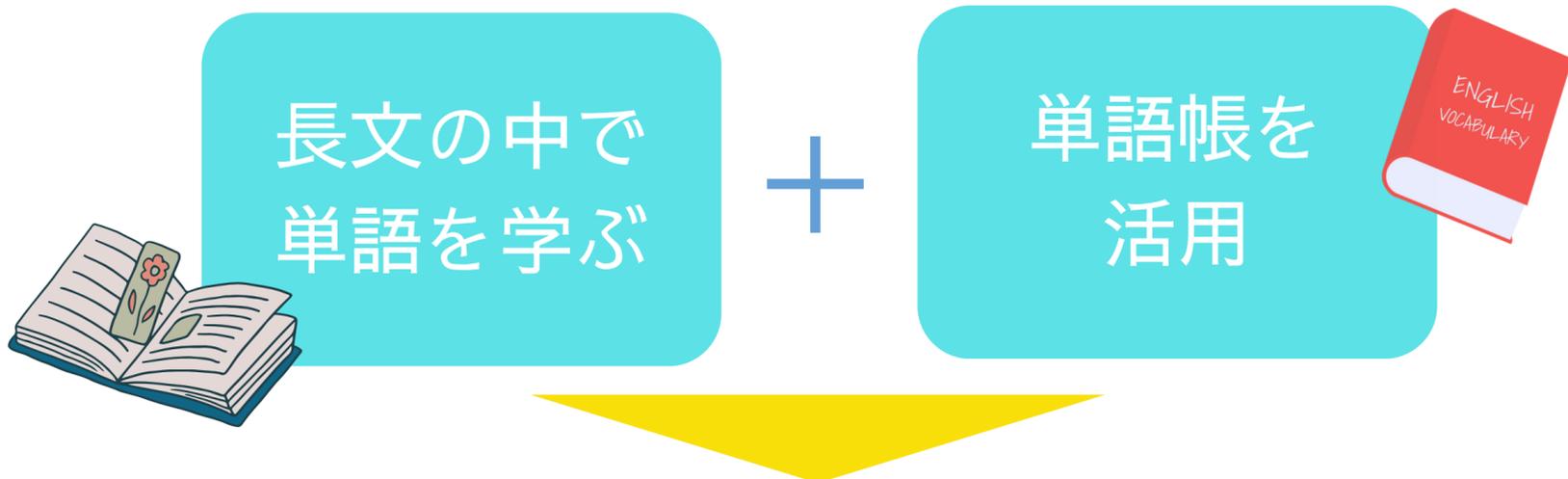
polish □□	を磨く：を
embrace □□	を受け入れ
compose □□	を構成する
allow □□	を許可する
declare □□	を宣言する
govern □□	を統治する
satisfy □□	を満足させる
overwhelm □□	を圧倒する：を打ちのめす

動詞編

polish □□	を磨く：を洗練させる
embrace □□	を受け入れる：を擁護する
compose □□	を構成する：を制作する

記憶に残る！

長文を使った単語の勉強法



単語を記憶に残りやすくする勉強法

学校の教科書や問題集などで出てきた長文を無駄にせず、その中で出てきた単語をその都度覚えて、単語力を伸ばしましょう。

単語帳は必要に応じて使用し、
毎週●●語など
学習計画を立てて学習すると、
定期テストや内部進学テストまでに
必要な単語力を計画的に
身につけることができます。



番外編

単語力をつけるには、
今回紹介した「文脈で覚える」の他にも
面白い覚え方があります。

1

語源で単語をチーム分けする

2

類語を増やしたり、推測したりする



この2つの覚え方を意識すると、
単語が覚えやすくなって、
単語力もどんどんついていきます。

この2つの覚え方は、
ハッとするような面白い発見があるので、
よかったら取り入れてみてください。

番外編

例えば...

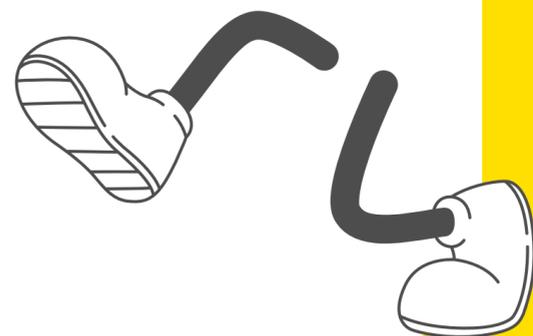
Pedestrian (歩行者)

もとは、
ラテン語の「pedes (歩行者)」から
来ています。

さらにそのもとは、
同じくラテン語の「pes (足)」です。

pesの語幹はpedなので、
類語は
pedal (ペダル)
pedicure (ペディキュア)

などがあります。



\ 例① /

番外編

pes (足)

※ラテン語。語源。

類語

pedal (ペダル)

pedicure (ペディキュア)

centipede (ムカデ)

millipede (ヤスデ)

pedes (歩行者)

※ラテン語。

pedestrian (歩行者)



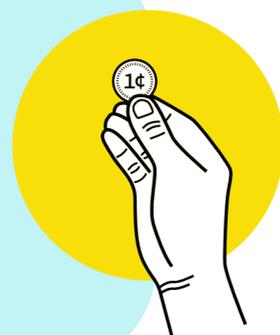
\ 例② /

番外編

お金の単位のセントは、
100分の1ドル=1セントというところから、
100という意味を持って派生します。

cent

お金の単位のセント
100分の1ドル=1セント

**century**

1世紀

centimeter

1センチ

(100分の1メートル)



このようにcentやpedeを知っていると、
こういった組み合わせやグルーピングで、
ボキャブラリーを増やしていくことができます。

また、初見の単語でも
なんとなく意味が読み取れたりするので、
ぜひ試してみてくださいね。

単語勉強法まとめ



- 短期対策として

「単語帳」で学習をするのは効果的

- でも、1から「単語帳」を

ただ周回するのは効率が悪い！

- **長文を活用**して、

記憶に残りやすい学習法を取り入れる

⇒ 学校の教科書や問題集に出てきた英文で、
意味のわからなかった単語を単語ノートに書き出す。
「単語帳」には、出典元を記載しておく。

- 「単語帳」は

学校から配布されているものを使う。

⇒ もし配布されていない場合は、
市販の単語帳を手に入れましょう。

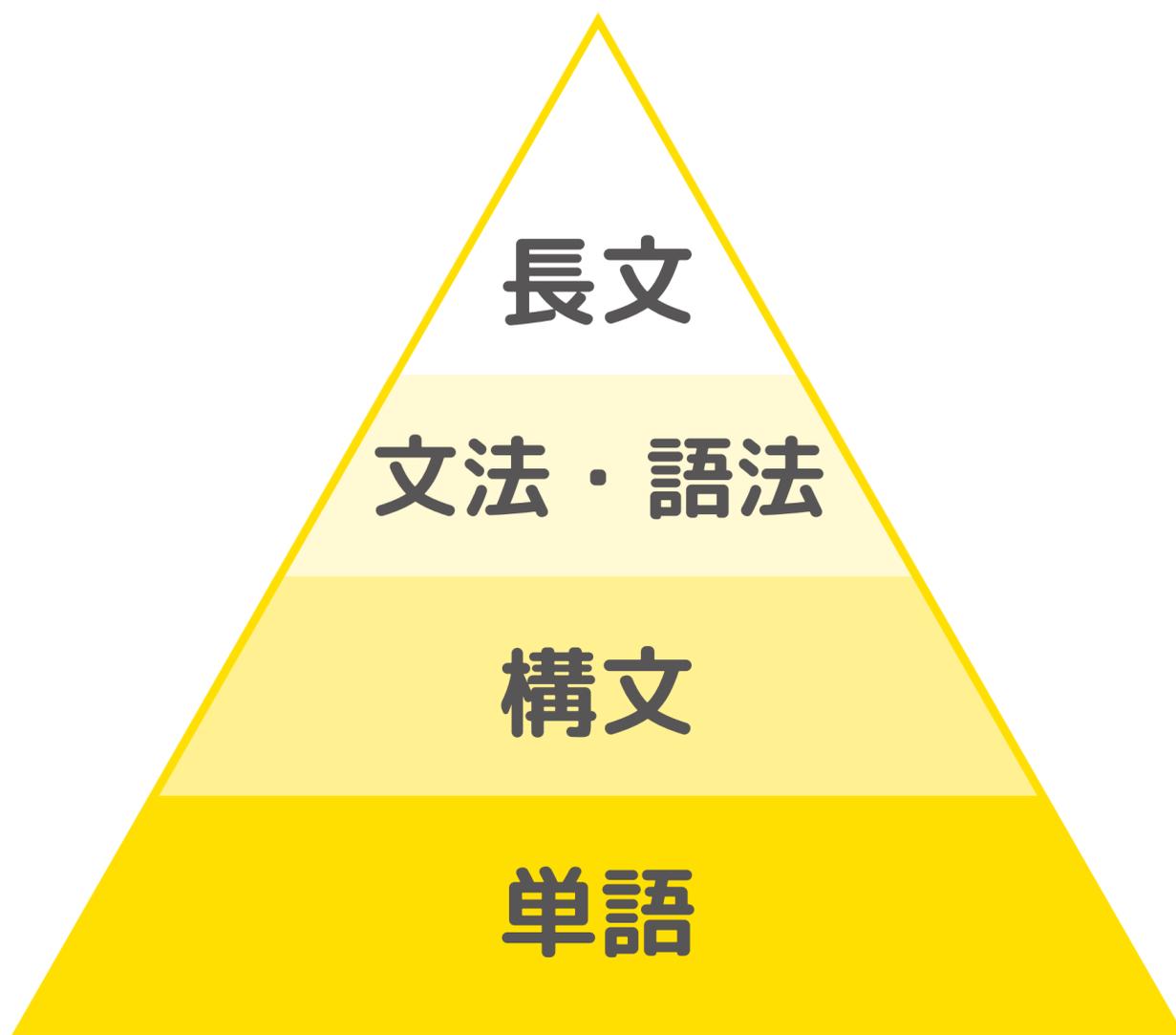
短期対策として単語数を増やすなら、
シンプルな**一義一語制**を採用している単語帳がオススメ！



構文力を高める

構文は、なぜ重要なのか

それでは次に、
ピラミッドで単語力の上に位置する、
構文の勉強法についてご紹介します。



リーディング力を鍛えるために、
単語力の次に鍛えたいのは構文力です。
なぜなら、単語の意味が分かってても、
英文の構造が分からなければ、
正しく訳せない英文もあるからです。

例えば、次の英文は訳せるでしょうか？

A girl **called** Kumi **called** Tom.

1人の少女 呼んだ クミ 呼んだ トム
(?) (?)

語彙は中学生で習うものばかりのはずなのに、
いまいち意味がつかみにくいですね。



1人の少女はクミを呼んで、
トムも呼んだ。

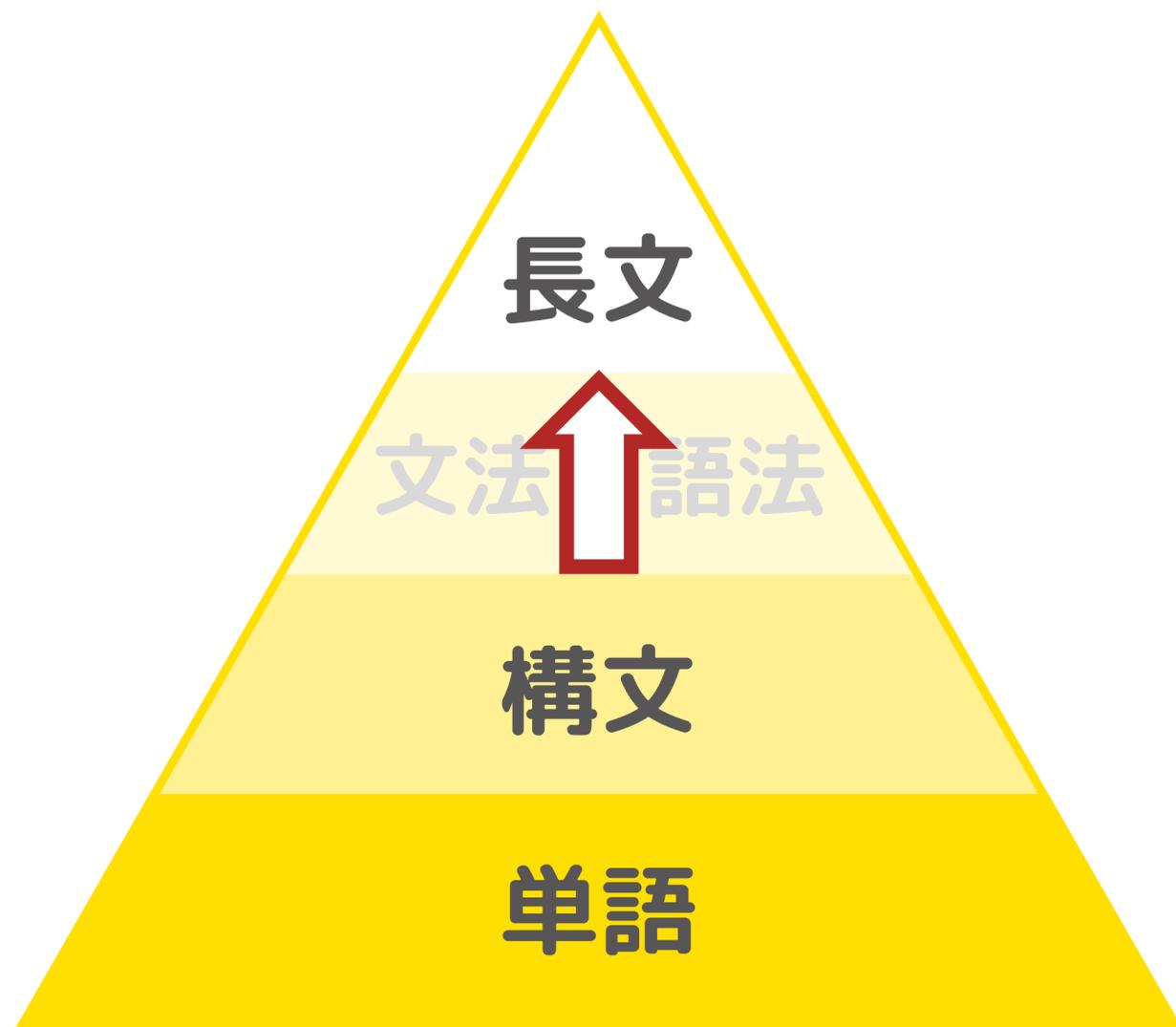


クミという女の子が、
トムを呼んだ。

単語の意味はとれるのに訳せない、
この問題を解決するには、
構文をとることが重要です。

「単語」と「構文」が分かれば、
ピラミッドの最上位に位置する
「長文」も読めるようになります。

「単語」と「構文」で
長文は読めるようになる！



学校の教科書を予習する上でも、
「構文」の学習は非常に重要です。



論理表現（文法）

5文型の理解が曖昧なうちに
「文法・語法」の各単元の学習を
先に進まないように気をつけましょう。

5
文
型

基本時制

完了時制

助動詞

助動詞

態

不定詞

分詞

分詞構文

...

「文法・語法」の各単元の学習だけを先に進めるのは危険！

英語コミュニケーション

学校の教科書には
多数の長文が掲載されていますが、
この長文を読む力の土台となるのは
「語彙」＋「構文」です。
教科書での長文読解を進める前に、
「構文」をしっかりと学んで、
しっかりとした土台を作りましょう。

構
文

教科書での長文読解
＝「語彙」＋「構文」の対策

「長文」演習に入る前に「構文」を学ぼう

構文の取り方

では、構文の取り方を勉強していきましょう！
構文を取るためには、3つの前提知識が必要です。

構文を取るための前提知識

- ① 5文型
- ② 品詞と文の構成要素
- ③ 品詞と語・句・節

まずは5文型から見ていきます。



構文の取り方

1 5文型

英語には、5文型があります。

すでに学校で習っている方も
多いのではないのでしょうか。

英語の文型は、下記の5つ（6つ）でできています。

S 主語

Vi 動詞（自動詞）

Vt 動詞（他動詞）

O 目的語

C 補語

M 修飾語

そして、次の5文型に分類ができます。

第1文型	SV
第2文型	SVC
第3文型	SVO（OをVする）
第4文型	SVOO（OにOをVする）
第5文型	SVOC（OをCにする）



構文の取り方

① 5文型

もう少し細かくすると、
第1文型・第2文型のVは、自動詞 (Vi) です。
第3～5文型のVは、他動詞 (Vt) になります。

自動詞：目的語 (O) を
必要としない動詞のこと。

他動詞：目的語 (O) を
必要とする動詞のこと。



第1文型	S Vi	→	自動詞 Vi
第2文型	S Vi C		
第3文型	S Vt O	→	他動詞 Vt
第4文型	S Vt O O		
第5文型	S Vt O C		

英文が第1～5文型のうち、
どの文型なのかを把握することが、
構文をとる第一歩です。
そのために、このまとめを使って、
まずは文型を頭に入れておきましょう。

構文の取り方

2 品詞と文の構成要素

では、構文をとるために
どの文型なのかを把握するには
どうしたらいいのでしょうか。

それには、**品詞と文の構成要素**を押さえ、
品詞分解ができるようになる必要があります。

最初は難しいと感じるかもしれませんが、
慣れてくれば
どんな英文の構文もとれるようになるので、
さっそく品詞や文の構成要素を
おさえていきましょう。

品詞と文の構成要素のポイント

【文の構成要素】

5文型で出てきた通り、S/V/O/Cの4つのみです。
要素としてカウントされない修飾語（修飾部）は
Mで表します。

【品詞】

S/V/O/Cになる品詞は、**名詞・動詞・形容詞**の
3つだけです。

構文の取り方

② 品詞と文の構成要素

【 品詞 】

名詞

動詞

形容詞

副詞

【 構成要素 】

主語 (S)

動詞 (V)

目的語 (O)

補語 (C)

修飾語 (M)



構文の取り方

3 品詞と語・句・節

構文をとるには、品詞を見極め、語・句・節の塊を把握することが大切です。次の表を参考に、文の構成要素をつかみカッコでくくってみましょう。

	カッコ	語（1語）	語（2語以上）	節（SV含2語以上）
名詞	[]	名詞	不定詞 to+V 動名詞 Ving	接続詞（接SV） 間接疑問文（疑SV） 複合代名詞
形容詞	< >	形容詞	不定詞 to+V 分詞 Ving/Vpp 前置詞+名詞	関係代名詞 関係副詞
副詞	()	副詞	不定詞 to+V 前置詞+名詞	接続詞 接SV 分詞構文 複合関係代名詞/副詞

カッコをつけて構文をとる例を少しご紹介します。いきなり全てを理解しようとはせず、まずはこんな風にカッコを使って構文をとっていくんだ、というイメージだけつけてみてください。

構文の取り方

③ 品詞と語・句・節

[My student] became [a doctor] (last month).

S

V

C

M

私の生徒は、先月医者になった。

[Richard] plays [the guitar] (every weekend).

S

V

O

M

リチャードは、毎週末ギターを弾く。

[Richard] gave [me] [some advice] (on my job).

S

V

O

O

M

リチャードは、私の仕事について、いくつかアドバイスをくれました。

[The girl <talking to John>] is [Kate].

S

V

C

ジョンと話している少女はケイトです。

These are [the car <made in Japan>].

S

V

C

これらは日本で作られた車です。

[The girl <who is singing on the stage>] is [my sister].

S

V

C

ステージで歌っている少女は私の妹です。

構文の取り方

3 品詞と語・句・節

[I] want [to go (to the university <where I can study Social Science>)].

S V

O

私は、社会科学を勉強できる大学に行きたい。

[I] don't know [the reason <why she got angry>].

S

V

O

私は、彼女が怒った理由を知らない。

それでは次から、
具体的に構文をとる手順を見ていきます。
順を追っていけば、
構文をとるのも簡単になっていきます！



構文を取る手順

1 まずは主語と動詞を探す



2 自動詞 (Vi) か、他動詞 (Vt) か判断する

●POINT●

自動詞は、動作の対象を必要としません。
他動詞は「～を」など目的語を伴い、
動作の対象が必要になります。

3 自動詞なら、第1文型か第2文型
他動詞なら、第3文型～第5文型

4 最後に、構成要素にカウントされない
修飾部を () でくくると、
さらにS/V/O/Cが見分けやすくなります。

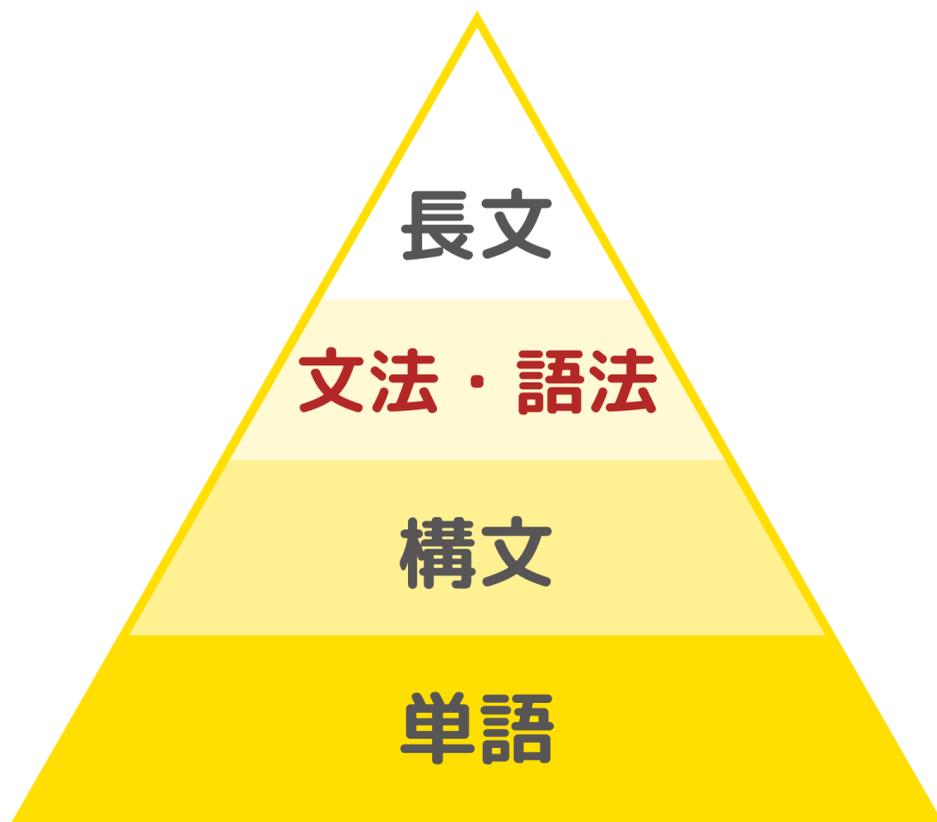
このように順を追って判断を進めると、
SVOOCがふれるようになります。



定期テスト対策のための文法力

定期テストでは「文法」の理解が重要

長文を読む・英文を読むためには、
「文法＞単語・構文」であることを
お伝えしてきましたが、
では文法・語法の力は必要ないのでしょうか。



確かに長文は、文法・語法がわからなくても、
読めるものが多いです。

しかし学校の定期テストや学力テストで
良い点数をとるためには

文法・語法の勉強も

しっかり学習し理解しておく必要があります。

定期テストや学力テストでは
「文法」の理解が問われるからです。

文法の勉強は、教科書をベースに行っていきましょう！

\教科書の文法事項の理解のための／

① 教科書予習

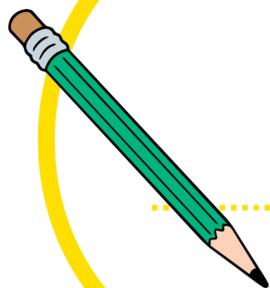
「論理・表現」教科書を使う！



\文法事項の体系的理解のための／

② 文法強化演習

学校配布のサブテキストを使う！



定期テストでいい点数をとるには、**教科書の予習が重要**です。

教科書を予習したうえで、教科書や学校配布の問題集のうち、「試験範囲内のすべての問題に解答できる」状態を目指しましょう。



\教科書の文法事項の理解のための／

① 教科書予習

それでは、教科書予習の進め方をご紹介します。

文法事項の理解には、

「**論理・表現**」の**教科書**を使い、学習を進めます。

1 文法事項パートの解説ページを読んで **確認問題を解く**

辞書や参考書などを参照してもOK！

2 解説ページや練習問題の英文で **意味が分からなかった単語**があれば ノートに追記して 品詞や意味を記入する

教科書の文法問題の予習として、
授業前に、学校の授業で必要な文法事項を
確認しておきましょう。

その際、**予習ノート**を作ると
効果的・効率的に学習を進められます。
予習ノートの作り方例をご紹介します。



\教科書の文法事項の理解のための／

① 教科書予習

★ 予習ノートの例 ★

Unit 3 Preparing for a natural disaster.

<文法パート Drills>

- ① (shall) (we) talk about disaster
- ② I (use) (to) join an emergency drill e
- ③ We (had) (better) prepare emergency supplies
- ④ You (had) (not) (better) go out when the t

<解説パート>

<単語パート>

- disaster (90) 災害 □ emergency drill (90) 避難訓練
- supplies (90) 生活必需品 □ in advance : 事前に
- typhoon (90) 台風

1

文法事項パートの解説ページを読んで
確認問題を解く

- あとで誤答分析したり、復習したりできるよう解答だけ残すのではなく、可能な限り答えを含めた全文をノートに残すとGOOD!
- 辞書や参考書などを参照してもOK!
⇒正答することよりも、回答の根拠を持つことが大切



学校の先生が説明したことを
書き込めるスペースをあけておこう!

2

解説ページや練習問題の英文で
意味が分からなかった単語があれば、
ノートに追記して、品詞や意味を
記入しておこう!

★ CHECK

- 予習で解いた問題があるかどうか
- 単語の意味が間違っていないか、不足していないか

★ PLUS

間違えた問題は、先生の解説を聞きなぜ間違えたのか
明確にしましょう! ノートにメモするのがオススメ◎

★ POINT

授業内で必要なことをメモできるように、
予習ノートはある程度スペースをあけて作ろう!



\ 文法事項の体系的理解のための /

② 文法強化演習

より理解を深めるためには、

問題演習が欠かせません。

予習、授業まで済んだら、

次は復習の意味もかねて、問題演習に取り組みます。



問題演習に使用するのは、

学校で配布している**サブテキスト**などです。

「論理・表現」の教科書で予習した文法単元と、

同じ単元に関して演習を行います。

● 学習の進め方 ●

- 1 学習した単元の問題の**目標正答率**を設定する
- 2 **教科書**で学習した単元と**同じ単元**の問題を解き、まるつけを行う
- 3 可能な範囲で**誤答分析**を行い、間違えた理由、正解した根拠をまとめる

\ 文法事項の体系的理解のための /

② 文法強化演習

★ 問題演習ノートの例 ★

第5章 助動詞

<STEP1>

① Taro (can) speak Chinese.
タロは中国語を話せることができる。

② You (must) study hard.
あなたはしっかりと勉強をしなければならない。

③ You (may) use this pen.
このペンを使ってもいいですよ。

④ She (may) be very happy.
彼女が幸せになっているかもしれません。

⑤ They () be in the library.

1

問題を解き、まるつけを行う！

- あとで誤答分析したり、復習したりできるよう解答だけ残すのではなく、可能な限り答えを含めた全文をノートに残すとGOOD！
- 学習前に目標設定した正答率を超えているか確認しましょう

<解説パート>

must (助動詞) ①【義務】～しなければならない
②【推測】～かもしれない

- Must I do the work today?
— No, you don't have to.
今日の仕事をしなければならないですか？
— いいえ、必ずしもありません

2

間違えた問題や正解だったけど自信がない問題について、
誤答分析を行い、間違えた理由や正解だった根拠をまとめよう！

<単語パート>

□ hard (副) 一生懸命 □ sure: もちろん

3

単語パートを必ず設けて
単語調べをしましょう

誤答分析は、最初から1人で完璧にこなすのはなかなか難しいものです。

1人では難しいという場合は、学校の先生や塾の先生を頼るのもいいでしょう。

東京個別・関西個別では、授業で誤答分析もしっかり行い、
間違いの原因を突き止めます。

その上で、苦手原因や知識不足となっている部分を効率よく解消するため、
着実に力をつけることが可能です。

文法・語法・勉強法のポイントまとめ

文法・語法を鍛えるためには、
教科書の予習をしてから授業に臨み、
その後、文法強化のために
学校のサブテキスト等を用いて演習を行きましょう。

\教科書の文法事項の理解のための／

教科書予習

「論理・表現」教科書を使う！



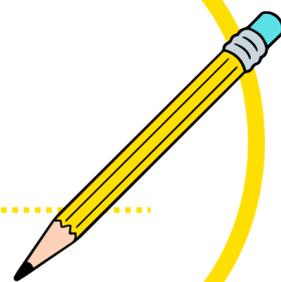
学校の授業

予習でわからなかったところの確認をしよう！
ノートに先生の解説や、不足分をメモしよう◎

\文法事項の体系的理解のための／

文法強化演習

学校配布のサブテキストを使う！



技能別の学習法

英語は「読む・聞く・書く・話す」4技能を
バランスよく伸ばすことが**重要**です。

ここまでは「読む（Reading）」の勉強法を
重点的にお伝えしてきたので、
ここからは「聞く（listening）」
「書く（Writing）」「話す（Speaking）」の
勉強法をご紹介します。

リスニング

リスニングは自宅で学習するのが
難しいと感じる方も多いのではないのでしょうか。

リスニング力を高めるには、
英語を聞きなれることが大切です。
とはいえ、日常的に英語を聞ける環境では
ないことがほとんどではないのでしょうか。

そういう場合、リスニング音源が聞けるような
アプリなどを活用して学習を行っていきましょう。



リスニング

● 学習の進め方 ●

① 問題演習

リスニング問題を**通常速度（1.0倍速）**で再生し、
ノートに回答する

② 答え合わせ

答え合わせを行い、
目標正答率を達成しているかどうか確認する

③ 音源の聞き直し

- 聞き取れなかった英文があれば、ノートに英文を写し
まずは該当箇所を**通常速度**で聞き直して、
聞き取れるかどうかを確認する
- 通常速度で聞き取れなかった場合は、
再生速度を0.1倍ずつ遅くする。
聞き取れる速度になるまでこれを繰り返し、
必要に応じて聞き取るポイントなどを追記する

リスニング

聞き取れてはいたものの、
スクリプトの英文を読んでもわからなかった箇所は
ノートにまとめておきましょう。
英文の聞き取りには慣れが必要です。

通常速度では「速すぎて全く聞き取れなかった」
という場合には、

聞き取れる速度まで再生速度を徐々に遅くして
聞き取る訓練をしてみましょう。

再生速度を落として聞き取れるようになった英文は、
だんだんに元の速度に戻しても
聞き取れるようになってきます。

また、無料の英文スピーチサイトなども活用すると
色々なジャンルの英文を聞くことができます。

スピーチサイトはいくつかあるので、
目標に合ったスピーチサイトを活用するのが
おすすめです。

自分の目標に合ったスピーチサイトはどれか、
どのスピーチサイトが

自分にとっていいかわからない場合は、
学校や塾の先生に聞いてみるのもいいでしょう。



ライティング

ライティングも、リスニング同様
1人で学習を進めるのは少し難しい技能です。

「英作文を解いても自分でまるつけができない...」
「日本語を、英語でどう表現したらいいか...」
という経験はないでしょうか。

英作文をしても、
その英文が正しい内容・構成になっているか、
問題集の解説を読んでも
判断が難しいことは多くあります。
また、表現したい日本語を英語で表現できない
という課題も英作文を勉強する上で
壁になりがちです。

これらの課題は、作成した英文の表現が正しいか
学校の先生や塾の先生に聞いたり
添削をしたりしてもらえば解決できますが、
1人で学習する場合は
セルフチェックの精度を高めていくしかありません。

そのために活用できるのが「**無料の校正サービス**」や
「**無料の語彙・文法チェッカー**」です。

ライティング

無料の校正サービスを使って
添削してみると…

英語（イギリス） v

I agree that playing sports helps children became better people.
I have two reasons for this.
First, playing sports encourages children to have healthy life.
Many children who play sports will continue to exercise when
they get older. Exercise makes people healthier.

※東京個別指導学院にて作成

POINT

文脈によって適語が変わることがあるため、
1文ずつ入力するのではなく、**英文すべてを入力して
まとめて評価**したほうが自然な英文になります◎

I agree that playing **sports** → **sport** helps children **became**
→ **to become** better people.
I have two reasons for this.
First, playing sports encourages children to have → lead healthy life → lives.
Many children who play sports will continue to **exercise** → **play sports** when
they get older. Exercise makes people healthier.

※東京個別指導学院にて作成

POINT

変更箇所を表示することもできるため、
自分の書いた英文のどこをどのように修正すべきかを
明確にすることができる！

ライティング

無料の語彙・文法チェッカーを使って
英語の表現を検索してみると…

※東京個別指導学院にて作成

POINT

辞書などで調べるのが難しい表現については「DeepL」などの翻訳サービスを活用して、より自然な英語としての表現パターンを確認しよう！

表現候補が複数表示される場合もあり、表現のバリエーションを増やすこともできる◎

このように無料サービスを活用すると自分で英作文の添削がある程度できたり、表現のバリエーションを広げたりすることができます。

無料の語彙・文法チェッカーでは、語彙や文法のミスがないかのチェックも可能です。

こういった無料のサービスは非常に便利で、学習を効率化できますが、一方で完全に正解を提示できないこともあります。

頼りすぎには気を付け、最終的にはできる限り、学校や塾の先生に添削してもらうようにしましょう。

スピーキング

スピーキングを1人で自宅学習する際に、
「発音やイントネーションが
合っているかわからない...」
と不安になることはないでしょうか。

1人でのスピーキング学習は、
自分の発話のセルフチェックができない
という課題があり、
効果的な練習が難しいのが実際のところですよ。

学校や塾の先生など、
発音・イントネーションを
チェック・確認してくれる相手が
そばにいればいいのですが、
自宅学習ではそうもいきません。
しかし、そんな課題を少しでも解決できる
勉強法があります。
今回はアプリを活用した
スピーキング学習の勉強法をご紹介します。



スピーキング

● 学習の進め方 ●

スピーキング学習に活用できるアプリは
「音声認識アプリ」と
「無料で使用できるスピーキングアプリ」！

まずは音声認識アプリの活用からご紹介しましょう。

音声認識アプリを活用すると、
十分なフィードバックを得るのは難しくても、
簡易的な確認ができるようになります。

音声認識アプリの活用法

1 まずは、確認したい英文を書き出す

2 ①で書き出した確認したい英文の発話を行い、
音声認識アプリに認識された英文が、自分が発音した
ものと異なっていないかをセルフチェック！

3 音声認識アプリに書き出された英文を、
今度は音声認識アプリに発音してもらい、
正しい発音・イントネーションを確認◎

※もし、認識された英文が間違っていた場合は①の確認したい英文を
正しく入力してから音声認識アプリに発音してもらいましょう。

これで自分が発話したものと異なっていないかを確認できる！
自分が発音したものと一致しない箇所があれば、
繰り返し聞くなどして、修正ポイントをつかもう◎

スピーキング

また、スピーキングは、
発話する習慣をつけることが学習の第一歩です。
無料で使用できるスピーキングアプリを活用すれば、
対スマホで発話の練習ができます。

「自分の発音やイントネーションにまだ自信がなくて
先生や友だちと練習するのが恥ずかしい……」
といった場合には、
こうしたスピーキングアプリの活用がおすすめです。

無料で使用できるスピーキングアプリも
多数存在しているので、これらのアプリを使って、
日ごろから英文を発話する機会を確保してみてください。

ただ、こういったアプリは非常に便利ですが、
やはり完璧ではありません。
あくまで補助的な役割で活用するのがおすすめです。

アプリの活用でスピーキングの自信がある程度ついたら
学校や塾の先生に、
発話を確認してもらおう機会を設けましょう。



おわりに

いかがだったでしょうか。
本電子ブックでご紹介した勉強法は、
英語力を伸ばすための第一歩です。

定期試験対策だけでなく
学校ごとに求められている
内部進学に影響する実力テスト対策や、
内部進学に必要な
英語資格検定のスコアアップ対策にも
有効な勉強法なので、
ぜひ実践してみてください。
毎日の積み重ねが成績向上につながります。

特に、効率よく学習するためには
自分に合った方法を見つけることが大切です。
まずは英語力の土台となる単語力・構文力を高め、
定期テストで活用できるスキルを
身につけていきましょう。
少しずつでも前に進んでいくことが大切です。



おわりに

それでも、勉強法を実践している中で
どうしても行き詰まったり、
英語の成績がなかなか伸びないと感じたりすることも
あるかもしれません。

そんなときは、1人で悩まずに
プロのサポートを受けることも大切です。

東京個別・関西個別では、
個別指導なので1人ひとりにピッタリの学習法や、
目標達成に向けた最適な学習アドバイスができます。

もし、勉強法に困ったり、さらに成績アップを
目指してサポートが必要だと感じたりした場合は、
無料体験や無料の個別相談会もご用意しているので、
ご活用いただければと思います。

東京個別・関西個別は
1人ひとりの目標達成・内部進学を
全力でサポートいたします！
まずはお気軽に教室見学へお越しください。
教室でお待ちしております。



あしたからできる!

**内部進学のための
効果的な英語勉強法**

成績アップ

テスト対策

**東京個別指導学院・関西個別指導学院
公式サイト**

<https://www.kobetsu.co.jp/>

©2024 (株) 東京個別指導学院